

ゴールド・ファンド (為替ヘッジあり)

運用報告書（全体版）

第8期（決算日 2025年7月8日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申しあげます。

「ゴールド・ファンド（為替ヘッジあり）」は、2025年7月8日に第8期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申しあげます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申しあげます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／内外／その他資産（商品）	
信託期間	2017年7月31日から原則無期限です。	
運用方針	主として、「ゴールド・マザーファンド」受益証券に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。	
主要運用対象	ゴールド・ファンド（為替ヘッジあり）	「ゴールド・マザーファンド」受益証券を主要投資対象とします。
	ゴールド・マザーファンド	金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	ゴールド・ファンド（為替ヘッジあり）	株式への実質投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への実質投資割合には、制限を設けません。
	ゴールド・マザーファンド	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。 ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

日興アセットマネジメント株式会社

<643705>

東京都港区赤坂九丁目7番1号

www.nikkoam.com/

2025年9月1日、日興アセットマネジメント株式会社は
「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に社名変更します。
社名変更後URL: www.amova-am.com

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号: 0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額 (分配落)	基 準 価 額			金地金価格 (円ヘッジベース) (参考指数)	投資信託券組入比率	純資産額		
		税分	込配	み金	期騰	中落	率		
4期(2021年7月8日)	円 12,639		円 0		% △ 1.3	134.15	% 0.2	% 99.8	百万円 9,549
5期(2022年7月8日)	12,038		0		△ 4.8	128.46	△ 4.2	99.4	8,950
6期(2023年7月10日)	12,485		0		3.7	135.32	5.3	100.2	10,776
7期(2024年7月8日)	14,499		0		16.1	158.44	17.1	101.4	12,527
8期(2025年7月8日)	19,046		0		31.4	211.44	33.5	99.6	23,255

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「金地金価格(円ヘッジベース)」とは、前日のニューヨークの金地金価格を対円でヘッジし、円／アメリカドルレート(対顧客電信売買相場の仲値)で円換算したものです。なお、設定時を100として2025年7月8日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	基 準 価 額		金地金価格 (円ヘッジベース) (参考指数)	投資信託券組入比率	
		騰	落	率		
(期首) 2024年7月8日	円 14,499		% —	158.44	% —	% 101.4
7月末	14,551		0.4	159.16	0.5	96.8
8月末	15,129		4.3	165.95	4.7	98.7
9月末	15,820		9.1	173.76	9.7	98.6
10月末	16,578		14.3	181.90	14.8	100.5
11月末	15,605		7.6	171.47	8.2	96.3
12月末	15,402		6.2	169.60	7.0	101.5
2025年1月末	16,404		13.1	180.20	13.7	98.0
2月末	16,776		15.7	185.09	16.8	97.8
3月末	17,900		23.5	197.47	24.6	99.1
4月末	19,173		32.2	212.08	33.9	100.0
5月末	19,029		31.2	211.07	33.2	99.2
6月末	18,693		28.9	207.47	31.0	98.8
(期末) 2025年7月8日	19,046		31.4	211.44	33.5	99.6

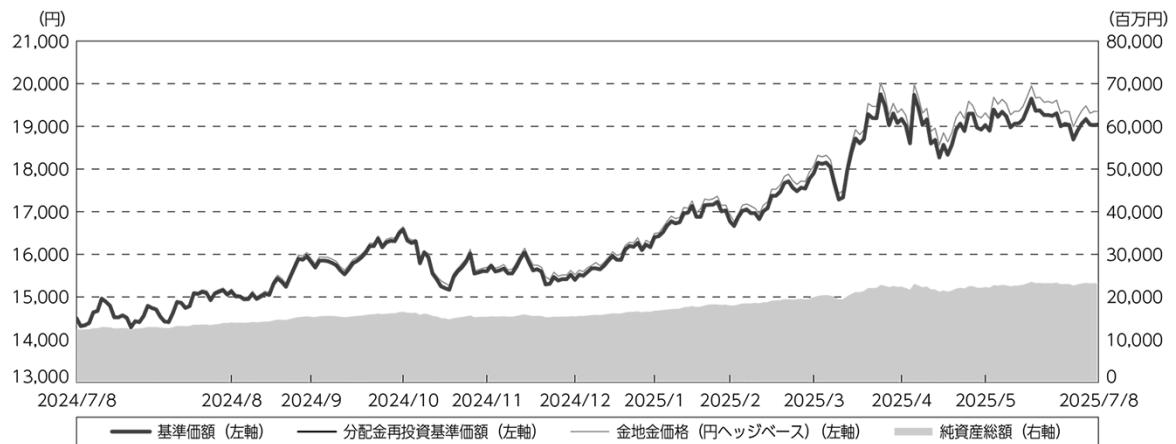
(注) 謙落率は期首比です。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「投資信託証券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2024年7月9日～2025年7月8日)

期中の基準価額等の推移



期 首：14,499円

期 末：19,046円（既払分配金（税込み）：0円）

騰落率： 31.4%（分配金再投資ベース）

（注）分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

（注）分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。

（注）分配金再投資基準価額および金地金価格（円ヘッジベース）は、期首（2024年7月8日）の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

（注）上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

（注）金地金価格（円ヘッジベース）は当ファンドの参考指標です。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている投資信託証券であって、金地金価格への連動をめざす投資信託証券に実質的に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行なっております。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・中東情勢の不確実性やロシアによるウクライナ侵攻など地政学的リスクが警戒されたこと。
- ・米国新政権の関税政策を巡る不透明感や米国の財政赤字が拡大するとの懸念から、相対的安全資産とされる金を買う動きが優勢となったこと。
- ・各国の中央銀行による積極的な金への投資が継続していること。
- ・欧米などの中央銀行が利下げを開始し、金利のつかない金の投資魅力が高まったこと。

<値下がり要因>

- ・米国の長期金利が上昇したこと。

投資環境

(金市況)

期間中の金地金市場では、アメリカドルベースの金価格は、期間の初めと比べて上昇しました。

米国の長期金利が上昇したことなどは金価格の重しとなったものの、中東情勢の不確実性やロシアによるウクライナ侵攻など地政学的リスクが警戒されたことに加え、米国新政権の関税政策を巡る不透明感や米国新政権が掲げる大型減税を含めた税制改革法案により米国の財政赤字が拡大するとの懸念から相対的安全資産とされる金を買う動きが優勢となったこと、各国の中央銀行による積極的な金への投資が継続していること、欧米などの中央銀行が政策金利を引き下げ、金利のつかない金の投資魅力が高まったことなどを背景に、金価格は上昇しました。金を証券化した上場信託（ＥＴＦ）への資金流入や、中国における旺盛な投機需要、米国の追加利下げ期待の高まりなども金価格の支援材料となりました。

当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、「ゴールド・マザーファンド」受益証券を高位に組み入れて運用を行ないました。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として対円での為替ヘッジを行ないました。

(ゴールド・マザーファンド)

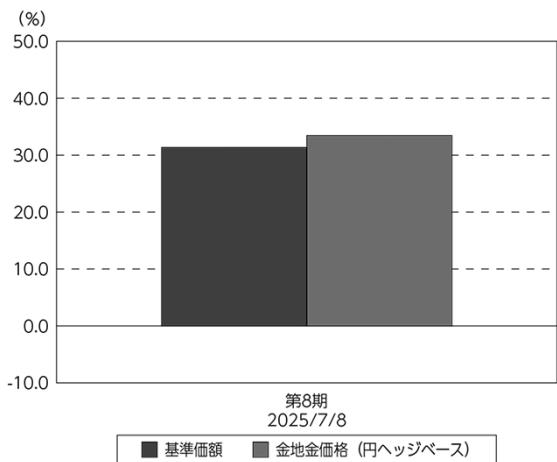
主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている投資信託証券であって、金地金価格への連動をめざす投資信託証券に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないました。原則として、隨時ポートフォリオの見直しを行ない、投資信託証券の組入比率を高位に維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドは運用の目標となるベンチマークを設けておりません。

グラフは、当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率です。

基準価額と参考指数の対比（期別騰落率）



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税込み）込みです。

(注) 金地金価格（円ヘッジベース）は当ファンドの参考指数です。

分配金

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項目	第8期	
	2024年7月9日～ 2025年7月8日	－%
当期分配金 (対基準価額比率)	—	—%
当期の収益	—	—
当期の収益以外	—	—
翌期繰越分配対象額	9,045	

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの收益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

（当ファンド）

引き続き、ファンドの基本方針に則り、「ゴールド・マザーファンド」受益証券を原則として高位に組み入れて運用を行ないます。実質外貨建資産については、為替変動リスクの低減を図るため、原則として為替ヘッジを行ないます。

（ゴールド・マザーファンド）

引き続き、原則として、ベンチマークである「金地金価格（円ベース）」に連動する投資成果をめざして、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券に投資を行ない、組入比率を高位に維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願ひ申しあげます。

○ 1万口当たりの費用明細

(2024年7月9日～2025年7月8日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 信託報酬	円 68	% 0.407	(a)信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
（投信会社）	(31)	(0.187)	委託した資金の運用の対価
（販売会社）	(31)	(0.187)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
（受託会社）	(6)	(0.033)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売買委託手数料	0	0.003	(b)売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
（投資信託証券）	(0)	(0.002)	
（先物・オプション）	(0)	(0.000)	
(c) 有価証券取引税	0	0.001	(c)有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
（投資信託証券）	(0)	(0.001)	
(d) その他の費用	8	0.050	(d)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
（保管費用）	(2)	(0.011)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
（監査費用）	(1)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
（印刷費用等）	(6)	(0.035)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合計	76	0.461	
期中の平均基準価額は、16,755円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

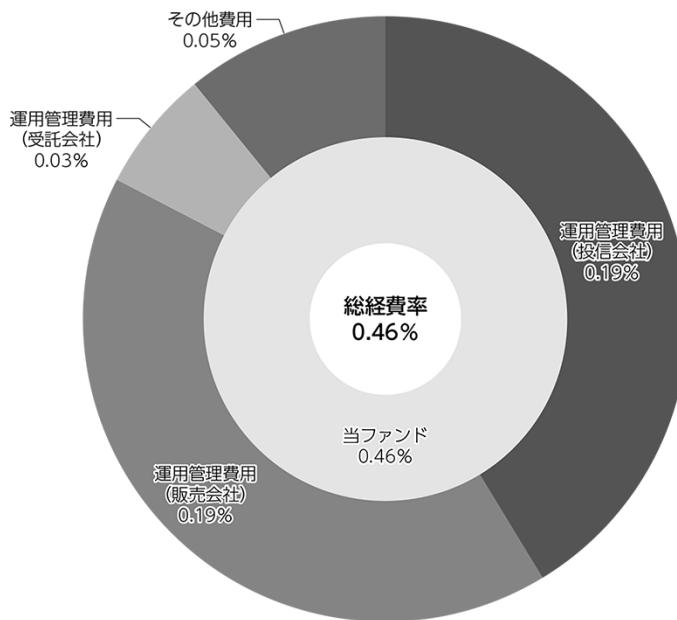
(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は0.46%です。



(注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認いただけますが、期中の費用の総額と年率換算した値は一致しないことがあります。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含みます。

(注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2024年7月9日～2025年7月8日)

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄	設定		解約	
	口数	金額	口数	金額
千円	千円	千円	千円	千円
ゴールド・マザーファンド	3,972,048	10,584,233	1,612,241	4,409,668

○利害関係人との取引状況等

(2024年7月9日～2025年7月8日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年7月9日～2025年7月8日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2024年7月9日～2025年7月8日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2025年7月8日現在)

親投資信託残高

銘柄	期首(前期末)		当期末	
	口数	千円	口数	千円
ゴールド・マザーファンド	5,265,611	23,310,141	7,625,418	

(注) 親投資信託の2025年7月8日現在の受益権総口数は、87,657,454千口です。

○投資信託財産の構成

(2025年7月8日現在)

項目	当期末	
	評価額	比率
ゴールド・マザーファンド	千円 23,310,141	% 99.3
コール・ローン等、その他	170,873	0.7
投資信託財産総額	23,481,014	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) ゴールド・マザーファンドにおいて、当期末における外貨建純資産（267,917,472千円）の投資信託財産総額（269,172,591千円）に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=146.09円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況（2025年7月8日現在）

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	46,484,381,127
ゴールド・マザーファンド（評価額）	170,870,326
未収入金	23,310,141,702
未収利息	23,003,366,817
未収利息	2,282
(B) 負債	23,228,457,727
未払金	23,171,626,566
未払解約金	9,650,936
未払信託報酬	40,653,398
その他未払費用	6,526,827
(C) 純資産総額（A - B）	23,255,923,400
元本	12,210,394,515
次期繰越損益金	11,045,528,885
(D) 受益権総口数	12,210,394,515口
1万口当たり基準価額（C / D）	19,046円

（注）当ファンドの期首元本額は8,640,314,526円、期中追加設定元本額は9,425,005,933円、期中一部解約元本額は5,854,925,944円です。

（注）1口当たり純資産額は1,9046円です。

○損益の状況（2024年7月9日～2025年7月8日）

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	554,598
(B) 有価証券売買損益	554,598
売買益	3,617,277,975
売買損	7,285,892,826
(C) 信託報酬等	△ 3,668,614,851
(D) 当期損益金（A + B + C）	△ 77,762,956
(E) 前期繰越損益金	3,540,069,617
(F) 追加信託差損益金	947,445,884
（配当等相当額）	6,558,013,384
（売買損益相当額）	(3,689,787,848)
(G) 計（D + E + F）	(2,868,225,536)
(H) 収益分配金	11,045,528,885
次期繰越損益金（G + H）	0
追加信託差損益金	11,045,528,885
（配当等相当額）	6,558,013,384
（売買損益相当額）	(3,689,924,407)
分配準備積立金	(2,868,088,977)
	4,487,515,501

（注）損益の状況の中で（B）有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

（注）損益の状況の中で（C）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

（注）損益の状況の中で（F）追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいいます。

（注）分配金の計算過程（2024年7月9日～2025年7月8日）は以下の通りです。

項目	2024年7月9日～ 2025年7月8日
a. 配当等収益（経費控除後）	3,389,297円
b. 有価証券売買等損益（経費控除後・繰越欠損金補填後）	3,536,680,320円
c. 信託約款に定める収益調整金	6,558,013,384円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	947,445,884円
e. 分配対象収益（a+b+c+d）	11,045,528,885円
f. 分配対象収益（1万口当たり）	9,045円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○分配金のお知らせ

1万口当たり分配金（税込み）	0円
----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2024年7月9日から2025年7月8日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 投資対象マザーファンドにおける金先物取引を利用可能とする約款変更に伴ない、当該マザーファンド約款と平仄を合わせるため、当ファンドについて金先物取引に関する規定を追加するべく、2024年8月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第15条、第23条の2）
- 当ファンドについて、運用報告書（全体版）は電磁的方法により提供する旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、2025年4月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（第60条）

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。

※本書が、受益者の皆さまのお手元に届く際には、社名変更が行われている場合がありますので、ご留意ください。

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申しあげます。

ゴールド・マザーファンド

運用報告書

第12期（決算日 2025年3月10日）
(2024年3月9日～2025年3月10日)

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2013年3月25日から原則無期限です。
運用方針	主に金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資割合は、信託財産の総額の10%以下とします。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。

ファンド概要

主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている投資信託証券であって、金地金価格への連動をめざす投資信託証券に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。なお、ファンドの状況や投資環境に応じて、金地金価格への連動をめざすために、金先物価格への連動をめざす上場投資信託証券や上場投資信託証券以外の有価証券に投資を行なう場合があります。

投資対象資産を保有した場合と同様の損益を実現する目的のため、金先物取引等の商品投資等取引を活用します。このため、上場投資信託証券の組入総額と金先物取引などの買建玉の時価総額の合計額および外貨建資産の組入総額と外国為替予約取引などの買建玉の時価総額の合計額が、信託財産の純資産総額を超えることがあります。

ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となつたときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

日興アセットマネジメント

<637068>

【運用報告書の表記について】

- 原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近5期の運用実績

決算期	基準価額	金地金価格(円ベース)			投資信託券率	純総資産額
		期騰	中	率		
8期(2021年3月8日)	円 11,665	% 7.4		120.77	% 7.0	% 106.0 138,951
9期(2022年3月8日)	14,579	25.0		151.21	25.2	99.9 158,719
10期(2023年3月8日)	15,705	7.7		163.45	8.1	102.9 174,259
11期(2024年3月8日)	20,082	27.9		209.46	28.2	100.0 196,770
12期(2025年3月10日)	26,899	33.9		280.82	34.1	99.6 235,199

(注)「金地金価格(円ベース)」とは、前日のニューヨークの金地金価格を円／アメリカドルレート(対顧客電信売買相場の仲値)で円換算したもので、なお、設定時を100として2025年3月10日現在知りえた情報に基づいて指数化しています。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年月日	基準価額	金地金価格(円ベース)			投資信託券率	
		騰	落	率		
(期首) 2024年3月8日	円 20,082	% —		209.46	% —	% 100.0
3月末	21,156	5.3		221.45	5.7	100.0
4月末	23,027	14.7		240.36	14.8	100.0
5月末	23,051	14.8		240.75	14.9	100.0
6月末	23,526	17.1		245.73	17.3	100.0
7月末	23,044	14.7		240.76	14.9	100.0
8月末	22,914	14.1		239.50	14.3	99.6
9月末	23,760	18.3		248.24	18.5	99.5
10月末	26,880	33.9		280.93	34.1	99.5
11月末	24,941	24.2		260.82	24.5	99.5
12月末	25,954	29.2		271.74	29.7	99.0
2025年1月末	27,086	34.9		282.91	35.1	99.6
2月末	26,967	34.3		282.53	34.9	99.7
(期末) 2025年3月10日	26,899	33.9		280.82	34.1	99.6

(注) 謄落率は期首比です。

○運用経過

(2024年3月9日～2025年3月10日)

基準価額の推移

期間の初め20,082円の基準価額は、期間末に26,899円となり、騰落率は+33.9%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・中東情勢やロシアによるウクライナ侵攻の不確実性など地政学的リスクが警戒されたこと。
- ・各国の中央銀行による積極的な金への投資が継続していること。
- ・欧米などの中央銀行が利下げを開始し、金利のつかない金の投資魅力が高まったこと。

<値下がり要因>

- ・円高／アメリカドル安となったこと。
- ・アメリカドルが主要通貨に対して上昇し、アメリカドルの代替投資先とされる金への投資の相対的魅力が薄れたこと。
- ・米国の長期金利が上昇したこと。

(金市況)

期間中の金地金市場では、アメリカドルベースの金価格は期間の初めと比べて上昇しました。

アメリカドルが主要通貨に対して上昇し、アメリカドルの代替投資先とされる金への投資の相対的魅力が薄れたことや、米国の長期金利が上昇したことなどが金価格の重しとなったものの、中東情勢やロシアによるウクライナ侵攻の不確実性など地政学的リスクが警戒されたことに加え米国新政権の関税政策を巡る不透明感が強まることから相対的安全資産とされる金を買う動きが優勢となったこと、各国の中央銀行による積極的な金への投資が継続していること、欧米などの中央銀行が政策金利を引き下げ金利のつかない金の投資魅力が高まったことなどを背景に、金価格は上昇しました。



(為替市況)

期間中におけるアメリカドル（対円）は、右記の推移となりました。



ポートフォリオ

主として、日本を含む世界の金融商品取引所に上場されている投資信託証券であって、金地金価格への連動をめざす投資信託証券に投資を行ない、信託財産の成長をめざして運用を行ないました。原則として、隨時ポートフォリオの見直しを行ない、また、金先物取引を利用し、実質の組入比率を高位に保ちました。なお、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行なわず、高位の外貨エクスポートヤーを維持しました。

当ファンドのベンチマークとの差異

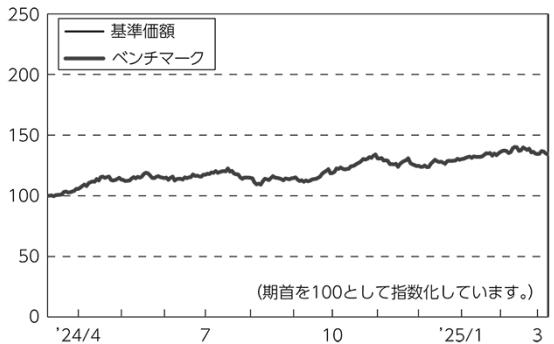
期間中における基準価額は、33.9%の値上がりとなり、ベンチマークである「金地金価格（円ベース）」の上昇率34.1%を概ね0.1%下回りました。

ベンチマークとの差異における主な要因は以下の通りです。

＜マイナス要因＞

- ・投資対象先における投資信託の信託報酬などの諸費用が影響したこと。
- ・海外カストディ・フィー、売買手数料、取引税などの諸費用が影響したこと。

基準価額とベンチマーク（指数化）の推移



○今後の運用方針

引き続き、原則として、ベンチマークである「金地金価格（円ベース）」に連動する投資成果をめざして、金地金価格への連動をめざす上場投資信託証券に投資を行なう方針です。原則として、随時ポートフォリオの見直しを行ない、また、金先物取引を利用し、実質の組入比率を高位に保つ方針です。なお、外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行なわず、高位の外貨エクスポージャーを維持する方針です。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○1万口当たりの費用明細

(2024年3月9日～2025年3月10日)

項目	当期		項目の概要
	金額	比率	
(a) 売買委託手数料 (投資信託証券) (先物・オプション)	円 1 (1) (0)	% 0.004 (0.004) (0.000)	(a) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
(b) 有価証券取引税 (投資信託証券)	0 (0)	0.001 (0.001)	(b) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
(c) その他の費用 (保管費用)	2 (2)	0.010 (0.010)	(c) その他の費用＝期中のその他の費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
合計	3	0.015	
期中の平均基準価額は、24,358円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入しております。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入しております。

○売買及び取引の状況

(2024年3月9日～2025年3月10日)

投資信託証券

銘柄	買付		売付		
	口数	金額	口数	金額	
外 国	アメリカ	千口	千アメリカドル	千口	千アメリカドル
	ISHARES GOLD TRUST-ETF	—	—	4,000	179,544
	ISHARES GOLD TRUST MICRO-ETF	1,550	40,362	—	—
	SPDR GOLD TRUST-ETF	1,220	284,454	1,147	266,725
	SPDR GOLD MINISHARES TRUST-ETF	—	—	800	42,157
小計		2,770	324,816	5,947	488,427

(注) 金額は受け渡し代金。

先物取引の種類別取引状況

種類別	買建		売建	
	新規買付額	決済額	新規売付額	決済額
外国商品先物取引	百万円 13,653	百万円 12,703	百万円 —	百万円 —

(注) 金額は受け渡し代金。

(注) 外国の取引金額は、各月末（決算日の属する月については決算日）の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算した金額の合計です。

○利害関係人との取引状況等

(2024年3月9日～2025年3月10日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年3月9日～2025年3月10日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○組入資産の明細

(2025年3月10日現在)

外国投資信託証券

銘柄	期首(前期末)		当期末		
	口数	口数	評価額	外貨建額	邦貨換算金額
(アメリカ)					
ISHARES GOLD TRUST-ETF	千口 14,625	千口 10,625	千円 583,418	千円 85,984,255	% 36.6
ISHARES GOLD TRUST MICRO-ETF	4,400	5,950	172,728	25,456,726	10.8
SPDR GOLD TRUST-ETF	238	311	83,603	12,321,481	5.2
SPDR GOLD MINISHARES TRUST-ETF	13,800	13,000	749,450	110,453,941	47.0
合計	口数 33,063	口数 29,886	評価額 1,589,200	外貨建額 234,216,404	
	銘柄 数 < 比率 >	4	4	—	<99.6%>

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

先物取引の銘柄別期末残高

銘 柄 別		当 期 末	
		買 建 額	売 建 額
外 国	商品先物取引	GOLD100	百万円 1,073

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2025年3月10日現在)

項 目	当 期 末	
	評 價 額	比 率
投資信託受益証券	千円 234,216,404	% 98.4
コール・ローン等、その他	3,746,863	1.6
投資信託財産総額	237,963,267	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

(注) 当期末における外貨建純資産（235,151,326千円）の投資信託財産総額（237,963,267千円）に対する比率は98.8%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。1アメリカドル=147.38円。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2025年3月10日現在)

項目	当期末
(A) 資産	円
コール・ローン等	238,085,572,980
投資信託受益証券(評価額)	3,425,055,641
未収入金	234,216,404,324
未収利息	122,311,207
差入委託証拠金	35,671
(B) 負債	321,766,137
未払金	2,886,091,238
未払解約金	259,051,037
(C) 純資産総額(A-B)	2,627,040,201
元本	235,199,481,742
次期繰越損益金	87,439,356,667
(D) 受益権総口数	147,760,125,075
1万口当たり基準価額(C/D)	87,439,356,667円
	26,899円

(注) 当ファンドの期首元本額は97,983,987,063円、期中追加設定元本額は27,440,885,649円、期中一部解約元本額は37,985,516,045円です。

(注) 2025年3月10日現在の元本の内訳は以下の通りです。

- ・ゴールド・ファンド為替ヘッジあり (SMA専用) 25,253,219,490円
- ・ゴールド・ファンド (為替ヘッジなし) 23,966,342,774円
- ・スマート・ファイブ (毎月決算型) 18,656,166,944円
- ・ゴールド・ファンド (為替ヘッジあり) 6,705,837,645円
- ・スマート・ファイブ (1年決算型) 3,691,479,948円
- ・ファイン・ブレンド (毎月分配型) 2,990,504,657円
- ・ゴールド・ファンド (適格機関投資家向け) 2,549,450,169円
- ・ファイン・ブレンド (資産成長型) 2,097,369,606円
- ・FOFs用ゴールド・ファンド (為替ヘッジあり (適格機関投資家専用)) 1,480,890,043円
- ・ファイン・ブレンド (奇数月分配型) 39,005,107円
- ・ファイン・ブレンド (適格機関投資家向け) 9,090,284円

(注) 1口当たり純資産額は2.6899円です。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○損益の状況 (2024年3月9日～2025年3月10日)

項目	当期
(A) 配当等収益	円
受取利息	11,222,605
その他収益金	6,054,455
支払利息	5,168,315
	△ 165
(B) 有価証券売買損益	62,491,718,694
売買益	64,418,288,991
売買損	△ 1,926,570,297
(C) 先物取引等取引損益	107,103,699
取引益	141,109,718
取引損	△ 34,006,019
(D) 保管費用等	△ 20,798,554
(E) 当期損益金(A+B+C+D)	62,589,246,444
(F) 前期繰越損益金	98,786,207,155
(G) 追加信託差損益金	38,707,289,301
(H) 解約差損益金	△ 52,322,617,825
(I) 計(E+F+G+H)	147,760,125,075
次期繰越損益金(I)	147,760,125,075

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益および(C)先物取引等取引損益は期末の評価換算によるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(G)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(H)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

〇お知らせ

約款変更について

2024年3月9日から2025年3月10日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当マザーファンドについて、金E T Fを主要投資対象としております。このたび米国市場の資金決済サイクルが短縮された制度変更の影響を抑えて、より効率的な運用を目指すため、当該マザーファンドにおいて金先物取引を利用可能とするべく、2024年8月21日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。(付表、第12条、第20条の2)

その他の変更について

日興アセットマネジメント株式会社は、2025年9月1日よりアモーヴァ・アセットマネジメント株式会社に社名変更します。また、ホームページアドレスも「www.amova-am.com」へ変更となります。